

## ワークショップ1 身近な協働の事業をまとめよう

- 1 各地域で行っている協働の事業一覧
- 2 1に関して問題点と課題を列挙
- 3 2に対する解決策の提示

### グループA

1 協働等の事業内容
・防災、防犯 ①防災訓練 ②交通当番（立哨） ・地域行事等 ③クリーンキャンペーン ④公民館・公園・神社・寺・墓などの掃除 ⑤リサイクルステーションの運営 ⑥水路清掃（つゆはり） ⑦とんど祭り ⑧祭礼（讃岐神社や氏神） ⑨畿央大学と北校区での昔話聞き取り調査 ⑩赤坂墓地管理委員会 ⑪古寺川通門操作（中区）
2 何が問題か？何が足りないか？（問題点・課題点）
①クリーンキャンペーン ⇒ 普段からのパトロールが弱い（特に町） ②防災訓練 ⇒ 防災拠点がない（近場がない） ③古寺川通門操作 ⇒ 台風や大雨時での操作が危険
3 どうしたらよいか？（解決策）
①クリーンキャンペーン ⇒ 町での定期巡回、相談体制の簡素化（区長が町民の要望の聞き役になるのではなく、町民から町へ直接要望が聞ける体制づくり） ②防災訓練 ⇒ 町内5小学校区に防災拠点設立 ③古寺川通門操作 ⇒ 通門の自動化（県への働きかけ）

## ワークショップ1 身近な協働の事業をまとめよう

### グループB

1 協働等の事業内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・防災、防犯 防災訓練 防災士ネットワーク 子ども見守る交通安全立哨</li><li>・子育て、高齢者福祉 手話グループ おはなし人形劇グループ 地域内サロン さまざまなサロン（お茶、お花を活ける） 乳幼児の子育てする活動 広陵ささえ愛</li><li>・地域行事 自治会とんど リサイクル当番</li><li>・その他 かぐや姫まつり</li></ul>
2 何が問題か？何が足りないか？（問題点・課題点）
<ul style="list-style-type: none"><li>・各種団体同士のつながりがない</li><li>・活動内容の類似団体が多い（1つにまとめられないか）</li><li>・住民のまちづくりに対する意識（防災の観点も含む。）が低い</li><li>・行政の事業の中に組み入れる（広報協力など）ことが難しい</li><li>・子どもの安全を守る地域住民の日々の姿が消えつつある（担い手不足）</li><li>・行政と活動するとルール作りに時間がかかりすぎる</li><li>・同じような活動を各課で実施している（無駄）</li></ul>
3 どうしたらよいか？（解決策）
<ul style="list-style-type: none"><li>・話し合いと早い行政の対応</li><li>・住民の意識改革（一番難しい）</li><li>・役場の各課内の活動を報告し合って統一（各課協働）することができると活動が見えやすく、やりやすく、参加しやすくなるのでは</li></ul>

## ワークショップ1 身近な協働の事業をまとめよう

### グループC

協同等の事業内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・防災、防犯 登下校時のみまもり</li><li>・子育て、高齢者福祉 高齢者の体操（KEEP）</li><li>・地域行事 祭 つゆはり（溝掃除） 寺等の掃除 河川清掃（クリーンキャンペーン）</li><li>・その他 農作物づくり 創業者支援 小中学生への企業紹介</li></ul>
何が問題か？何が足りないか？（問題点・課題点）
<ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信源が広報紙に偏っている ・ボランティア（有償含む）の活用が少ない</li><li>・イベントを企画しても対象者全員へ情報が届いていない</li><li>・町内企業その他業種間連携の場（機会）が無い ・商品の販路が確保しにくい</li><li>・商工会の活動が周知されず把握しにくい</li><li>・旧村しか町政に興味を持っていない ・ニュータウン住民を町政に取り込めていない</li><li>・旧村に比べると新興住宅地の住民の町政参加努力が感じられない</li><li>・地域自治に参加してくれる人が少ない ・『町→自治会→住民』という連絡体制ができている中で自治会離れが起こっている</li></ul>
どうしたらよいか？（解決策）
<ul style="list-style-type: none"><li>・関心事の共有（SNS等） ・情報の共有 ・多方面からの情報発信</li><li>・お得感の演出 ・楽しみの創造</li><li>・周囲の環境作り ・地域の人のつながり作り ・イベントを活用しての絆づくり</li><li>・あいさつ運動</li></ul> <p>どのような協働が求められているのか、そのニーズをSNSなどを駆使して情報を発信・収集すること。まちづくりに参加することを単なる義務とするのではなく、お得感を全面に出して参加する楽しみや生きがいにできれば良いのではないかと？</p> <p>希薄に感じられる地域のつながりについては、取り組みやすいあいさつ運動やイベントを活用して顔見知りを増やしていく。</p>

## ワークショップ1 身近な協働の事業をまとめよう

### グループD

1 協働等の事業内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・防災、防犯 防災関係（自主防災組織、自警団、防災訓練など） 防犯活動（パトロールなど）</li><li>・子育て、高齢者福祉 地域ささえ合い活動（お助け隊など） 老人クラブ</li><li>・地域行事 自治会 清掃活動（公園、神社などの清掃活動やクリーンキャンペーン） こども会（的場では、生物調査ともちつきの異なる行事をひもづけて行っている） 地域の伝統行事（祭やだんじり曳行など）</li><li>・その他 外国の方への農業体験</li></ul>
2 何が問題か？何が足りないか？（問題点・課題点）
<ul style="list-style-type: none"><li>・人材不足</li><li>・少子化によりこども会消失のおそれ</li><li>・自治会などの役員の周期が1年と短すぎるため引き継ぎが上手くいかない（業務内容や熱意など）。</li><li>・防災関係では、地域によって意識の差がある。</li></ul>
3 どうしたらよいか？（解決策）
<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会と別の実行委員会を設立</li><li>・自治会の会則変更により継続年数の引き上げ</li><li>・他団体と協力</li><li>・地域で顔の見える関係づくりを行う（コミュニケーション強化）。</li></ul>

# ワークショップ1 身近な協働の事業をまとめよう

## グループE

1 協働等の事業内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・防災、防犯 防災ネットワーク 消防団 自警団</li><li>・子育て、高齢者福祉 小学校のまちづくり 各学校のPTA</li><li>・地域行事 清掃活動 南郷こどもだんじり 自治会 秋祭り だんじり 子ども会</li><li>・その他 町文化祭 かぐや姫祭り</li></ul>
2 何が問題か？何が足りないか？（問題点・課題点）
<ul style="list-style-type: none"><li>・自警団や消防団等の団員減少（担い手不足）</li><li>・防災ネットワークと消防団とのネットワークの構築</li><li>・周知の難しさ</li><li>・自治会加入していない人との交流</li><li>・他団体とのつながりが少ない</li></ul>
3 どうしたらよいか？（解決策）
広報活動の拡大（興味付け強化） 行政と自治会の連携 各種団体を活性化させ、団体の活動内容を毎年続けやすいものとする。

# ワークショップ1 身近な協働の事業をまとめよう

## グループF

1 協働等の事業内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・防災、防犯 防災活動訓練 交通安全見守り、下校時の見守り 祭りの際の交通整理</li><li>・子育て、高齢者福祉 まちライブラリー（自遊空間ゼロ）</li><li>・地域行事 とんどの準備 大和川クリーンキャンペーン、地域の草刈り、用水路の清掃活動 リサイクル用品の回収</li><li>・その他 昨年実施した広陵フェス 図書館のエントランスでマルシェ実施</li></ul>
2 何が問題か？何が足りないか？（問題点・課題点）
<ul style="list-style-type: none"><li>・一部の人しか来ていない。</li><li>・自治会を入会しない方が増えていて、溝掃除が高齢化で一部の人の負担が大きい。</li><li>・参加できる人の確保。</li><li>・子どもの見守りで交通安全当番をある程度各家庭に義務。</li><li>・子どもが減ってきており、PTAの見守りも旗当番がすぐ回ってくる。</li><li>・意識が低い。</li><li>・リサイクルゴミ週一回収にしてほしい。</li><li>・同じ団体内でも世代ごとの考え方に違いがある。</li><li>・居場所の提供。まず家から出にくい。</li><li>・いつも同じ場所や人員（やりやすくはあるが）</li><li>・公園や図書館の定期イベントを周知しきれていない。</li><li>・民間主導で大成功した例を町が継続して定期開催すべき。</li></ul>
3 どうしたらよいか？（解決策）
<ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全当番の安全を確保。</li><li>・参加すすめる。仲間づくり特に1人住まいの男性。</li><li>・独身の若者でも高齢の独り暮らしでも気楽に参加しやすいイベント→仲間づくり。</li><li>・若い世代の参加呼びかけ。</li><li>・周知方法の模索（世代ごとに方法を変えて）。</li><li>・地域の取組事例を広報で発信。</li></ul>